

“自民党農政” もう変えませんか。

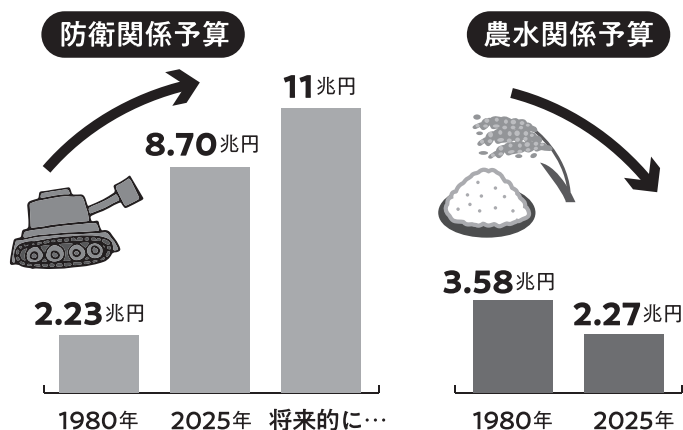


“食料は外国から買えばいい”
“競争力のない農家は shouldn't いる”
“農業に金をかけるのはムダ”——

こんな考えで農政を長年続けた自民党政府。
いま「洪水のように離農者が増え、この国から村が消え、農家、農民が
消えようとしています」(3.30「令和の百姓一揆」の訴えより)。
昨年来の米不足・価格高騰も、長年の減反政策、市場まかせが原因です。
それでも米価下落時に政府の責任で米農家を支援しようとはしません。

農業・農村を軽んずる国に 未来はありません

農水予算は 防衛費の約4分の1に!



野菜をばりばりたべるのが
だいすきなんです!

「おいしかった」の
ひとことがなによりですよ。

田村智子委員長 千葉県船橋市で

- 食料自給率 50%の早期回復
- 価格保障と所得補償の充実を
- 担い手を援助し育成する

農業を
窮地に追い
込んだ

輸入自由化に 日本共産党は一貫して反対

米価下落に道を開いた食糧法の導入にも、唯一反対の論陣をはりました。

日本共産党は、コロナ危機で米価が暴落したとき、国が買い入れて農家を支援よと政府になんども迫りました。米不足では、備蓄米を放出せよといち早く要求してきました。こういう議席こそ、国会に必要なではないでしょうか。

農業つぶしの根本にあるのは、アメリカいいなり、大企業の利益優先という自民党政治のゆがみです。そこに正面から切り込める日本共産党の躍進こそ、農業と日本の未来をひらくもっとも確かな力です。



「食と農を守れ」 の願いを **日本共産党** に託してください



2026年1・2月号外
日刊 紙・電子版 月3,497円 日曜版 紙・電子版 月990円

発行/日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3403-6111 FAX 03-5474-8358

JCPサポーター
ボランティア募集中!

